2019 年 6 月 21 日受信②

マルワリードⅡ（カチャラ堰）の現在。建設後二年半、PMS の堰の中では最も安定した取水堰となっている。2019 年 6 月 17 日

同取水門。正面ケシュマンド山脈、雪が薄くなっている。2019 年 6 月 17 日

取水口付近の水やり風景。2019 年 6 月 17 日

調節池 I の現在。2019 年 6 月 17 日

調節池Ⅱの現在。元洪水進入路で、現在は強化堤防の裏のりに当たる。2019 年 6 月 17 日

同強化堤防の表のり。樹林帯の主力、シーシャムは二年を経過、勢いづいてきた。ユーカリに比べて成長が遅いが、木質は極めて硬い。2019 年 6 月 17 日

調節池Ⅱからの排水路建設（排水路 2 の出発点）。2019 年 6 月 17 日

排水路 2 の掘削を完了、長さ約 800mで直進、排水路 1 に合流する。（計画では 600mとしていましたが、これが正しいものです）。幅 50～100mの浅い河道であったが、閉塞によって湿地帯に変化していた。ここもやがて耕地化が予想され、排水路を設けた。2019 年 6 月 17 日

調節池Ⅲの現在。2019 年 6 月 19 日

3.3 km地点。主幹水路は、排水路 1 を横断するサイフォンを下り、調節池Ⅲに注ぐ。ヤナギの成長が著しい。2019 年 6 月 19 日

調節池Ⅳと主幹水路の現在。2019 年 6 月 19 日

護岸 6.5～6.8 ㎞。現在、河幅は 160mあるが 4 ㎞付近の分流閉め切りに伴ってこちらを通過する水量が倍増、大洪水時には危険と判断。立ち退きは気の毒だったが、河幅を広げなければ被害がベラ村全域に及ぶ可能性もあり、本工事に踏み切った。家屋のある地点は、全体が凸状に弧を描いて川に突出した形になっており、これを削って河を直進させ、かつ幅約 20～30mを加えるもの。対岸は岩盤で深い急流があり、直進で流速を増せば溢水は起きにくいとの想定。浸蝕対策にも万全を期する。2019 年 6 月 19 日